障がいから見る パラリンピック競技 競技早見表

クラス分けってなに？

クラス分けとは、誰がパラリンピックに出場できるかを定め、障がいの影響を最小限にするために選手をグループ分けすることで、スポーツの公平性を保つ取り組みです。

クラス分け動画

クラス分けはどういう仕組み？

診断書などにより基礎疾患や障がいを確認したあと、クラシファイアと呼ばれる専門家によって、出場可否や競技クラスの決定が行われます。

	脊髄や神経の損傷や病気によって、筋肉にうまく力が入らない	何らかの原因により関節の動きが制限されている	生まれつきや事故、疾患によって手や足が欠損している、左右の長さが違う	手や足の筋肉が硬くなってうまく動かせない。手足が震える。勝手に動いてしまう	著しく身長や手足の長さが短い	目が見えない、見えにくい	判断や記憶、学習など知的機能や社会生活に制限がある
具体的な疾患名など	脊髄損傷、二分脊椎、末梢神経障害、筋萎縮症、神経炎など	外傷、多発性関節拘縮症、先天性内反など	四肢欠損、切断など	脳性麻痺、外傷性脳損傷、脳卒中、多発性硬化症など	骨形成不全症、成長ホルモン不全症、軟骨無形成症など	網膜色素変性、緑内障など	知的障がい
出場資格のある障がいの種類	筋力低下	他動的関節可動域制限	四肢欠損／四肢長差（腕・脚）	協調運動障がい（筋緊張亢進／痙縮、運動失調、ジスキネジア）	低身長	視覚障がい	知的障がい
夏季競技 アーチェリー	●	●	●	●			
陸上競技	●	●	●	●	●	●	●
バドミントン	●	●	●	●	●		
ボッチャ	●	●	●	●			
カヌー	●	●	●				
自転車競技	●	●	●	●		●	
馬術	●	●	●	●	●	●	
ブラインドフットボール						●	
ゴールボール						●	
柔道						●	
パワーリフティング	●	●	●	●	●		
ローイング	●	●	●	●		●	
射撃	●	●	●	●			
座位バレーボール	●	●	●	●			
水泳	●	●	●	●	●	●	●
卓球	●	●	●	●	●		●
テコンドー	●	●	●				
トライアスロン	●	●	●	●		●	
車いすバスケットボール	●	●	●	●			
パラフェンシング	●	●	●	●			
車いすラグビー	●	●	●	●			
車いすテニス	●	●	●	●			
パラクライミング	●	●	●	●		●	
冬季競技 アルペンスキー	●	●	●	●		●	
バイアスロン	●	●	●	●		●	
クロスカントリースキー	●	●	●	●		●	
アイスホッケー	●	●	●	●			
スノーボード	●	●	●	●			
車いすカーリング	●	●	●	●			

日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会制作（2026年4月改訂）

出場資格のない障がい

痛みがある、疲れやすい、めまいがある、脱臼や靱帯損傷によって関節が不安定、呼吸や代謝に障がいがあるといった症状のみではパラリンピック競技の対象とはなりません。上の表の出場資格のある障がいがあり、痛みや疲れやすさがクラス分けを行う上で支障にならない場合に限り、出場が認められることがあります。

全国障害者スポーツ大会とクラス分け

全国障害者スポーツ大会に出場のための障害区分とクラス分けでは、基準や分け方が大きく異なるため、全国障害者スポーツ大会への出場経験があってもイチからクラス分けを受ける必要があります。なお、身体障害者手帳や療育手帳の有無もクラス分けには反映されません。

NEXT STEP 国内の競技会に出場するために

競技によっては国内の大会に出場するために、その競技の国内競技団体が運営する国内クラス分けを受ける必要がある場合があります。
詳しくは各競技団体の担当者までお問合せください。

障がいから見る パラリンピック競技 競技早見表

クラス分けってなに？

クラス分けとは、誰がパラリンピックに出場できるかを定め、障がいの影響を最小限にするために選手をグループ分けすることで、スポーツの公平性を保つ取り組みです。

クラス分け動画

クラス分けはどういう仕組み？

診断書などにより基礎疾患や障がいを確認したあと、クラシファイアと呼ばれる専門家によって、出場可否や競技クラスの決定が行われます。

どんな症状がありますか？	脊髄や神経の損傷や病気によって、筋肉にうまく力が入らない	何らかの原因により関節の動きが制限されている	生まれつきや事故、疾患によって手や足が欠損している、左右の長さが違う	手や足の筋肉が硬くなってうまく動かせない。手足が震える。勝手に動いてしまう	著しく身長や手足の長さが短い	目が見えない、見えにくい	判断や記憶、学習など知的機能や社会生活に制限がある
具体的な疾患名など	脊髄損傷、二分脊椎、末梢神経障害、筋萎縮症、神経炎など	外傷、多発性関節拘縮症、先天性内反など	四肢欠損、切断など	脳性麻痺、外傷性脳損傷、脳卒中、多発性硬化症など	骨形成不全症、成長ホルモン不全症、軟骨無形成症など	網膜色素変性、緑内障など	知的障がい
出場資格のある障がいの種類	筋力低下	他動的関節可動域制限	四肢欠損／四肢長差（腕・脚）	協調運動障がい（筋緊張亢進／痙縮、運動失調、ジスキネジア）	低身長	視覚障がい	知的障がい
夏季競技 アーチェリー	●	●	●	●			
陸上競技	●	●	●	●	●	●	●
バドミントン	●	●	●	●	●		
ボッチャ	●	●	●	●			
カヌー	●	●	●				
自転車競技	●	●	●	●		●	
馬術	●	●	●	●	●	●	
ブラインドフットボール						●	
ゴールボール						●	
柔道						●	
パワーリフティング	●	●	●	●	●		
ローイング	●	●	●	●		●	
射撃	●	●	●	●			
座位バレーボール	●	●	●	●			
水泳	●	●	●	●	●	●	●
卓球	●	●	●	●	●		●
テコンドー	●	●	●				
トライアスロン	●	●	●	●		●	
車いすバスケットボール	●	●	●	●			
パラフェンシング	●	●	●	●			
車いすラグビー	●	●	●	●			
車いすテニス	●	●	●	●			
パラクライミング	●	●	●	●		●	
冬季競技 アルペンスキー	●	●	●	●		●	
バイアスロン	●	●	●	●		●	
クロスカントリースキー	●	●	●	●		●	
アイスホッケー	●	●	●	●			
スノーボード	●	●	●	●			
車いすカーリング	●	●	●	●			

日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会制作（2026年4月改訂）

出場資格のない障がい

痛みがある、疲れやすい、めまいがある、脱臼や靱帯損傷によって関節が不安定、呼吸や代謝に障がいがあるといった症状のみではパラリンピック競技の対象とはなりません。上の表の出場資格のある障がいがあり、痛みや疲れやすさがクラス分けを行う上で支障にならない場合に限り、出場が認められることがあります。

全国障害者スポーツ大会とクラス分け

全国障害者スポーツ大会に出場のための障害区分とクラス分けでは、基準や分け方が大きく異なるため、全国障害者スポーツ大会への出場経験があってもイチからクラス分けを受ける必要があります。なお、身体障害者手帳や療育手帳の有無もクラス分けには反映されません。

NEXT STEP 国内の競技会に出場するために

競技によっては国内の大会に出場するために、その競技の国内競技団体が運営する国内クラス分けを受ける必要がある場合があります。
詳しくは各競技団体の担当者までお問合せください。